

2022年6月24日

各位

上場会社名 東洋建設株式会社
 代表者 代表取締役社長 武澤 恭司
 (コード番号 1890 東証プライム)
 問合せ先責任者 常務執行役員経営管理本部総務部長 佐藤 護
 T E L 03-6361-5450

支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(2022年3月31日現在)

| 名 称 | 属 性 | 議決権所有割合(%) | | | 発行する株券が上場されている金融商品取引所等 |
|---------------------|----------|------------|-------|-------|--|
| | | 直接所有分 | 合算対象分 | 計 | |
| インフロニア・ホールディングス株式会社 | その他の関係会社 | 0.00 | 20.20 | 20.20 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部 (2022年4月4日以降、 同取引所プライム市場) |
| 前田建設工業株式会社 | その他の関係会社 | 20.20 | — | 20.20 | — |

注1. 「議決権所有割合」は、2022年3月31日現在の発行済株式総数 94,371,183 株から議決権を有しない株式数 84,683 株を控除した株式数 94,286,500 株に係る総株主の議決権の数 942,865 個を分母として計算し、小数点第三位を四捨五入しております。以下同じです。

注2. インフロニア・ホールディングス株式会社が2022年3月23日から実施しておりました当社株式に対する公開買付けは、当社が2022年5月20日付で公表いたしました「インフロニア・ホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」のとおり、2022年5月19日付で不成立となりました。

なお、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者から2022年5月17日付で以下の内容の大量保有報告書(変更報告書)が提出され、公衆の縦覧に供されております。

(2022年5月17日現在)

| 名 称 | 属 性 | 議決権所有割合(%) | | | 発行する株券が上場されている金融商品取引所等 |
|--------------------------------|----------|------------|-------|-------|------------------------|
| | | 直接所有分 | 合算対象分 | 計 | |
| ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited) | その他の関係会社 | 9.76 | 17.46 | 27.22 | — |

注3. 上記はダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者が提出した大量保有報告書(変更報告書)に基づいて記載しており、当社として当該株主名義の実質所有株式数の確認ができたものではありません。

注4. 上記の「合算対象分」は、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者が提出した大量保有報告書(変更報告書)における、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)の共同保有者であるダブリューケイ・ツー・リミテッド(WK 2 Limited)、ダブリューケイ・スリー・リミテッド(WK 3 Limited)及び合同会社Vpgの保有株券等の数に基づき記載しております。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号及び理由

当社議決権の 20.20%を直接所有する前田建設工業株式会社はインフロニア・ホールディングス株式会社の完全子会社であることから、前事業年度末日(2022 年3月 31 日)時点において当社に与える影響が最も大きいと認められる会社はインフロニア・ホールディングス株式会社となります。

なお、「1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等」に記載のとおり、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者が 2022 年5月 17 日付で提出した大量保有報告書(変更報告書)によれば、当該株主は当社の筆頭株主及びその他の関係会社に該当しますが、親会社等のうち、本日時点において当社に与える影響が最も大きいと認められる会社については確認中となります。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係

当社は、インフロニア・ホールディングス株式会社の完全子会社である前田建設工業株式会社の持分法適用関連会社という位置付けにあります。前田建設工業株式会社とは「独立と協調」の精神で両者の強みを活かしたシナジー効果の実現を目的とした業務提携を行っております。

なお、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者が 2022 年5月 17 日付で提出した大量保有報告書(変更報告書)によれば、2022 年5月 17 日現在、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)はその共同保有者と合算で当社議決権の 27.22%を所有していますが、当該株主の役員が当社役員を兼務するような人的関係はありません。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、当社独自の経営方針・戦略に基づき事業活動を行っておりますので、インフロニア・ホールディングス株式会社及び前田建設工業株式会社からの事業上の制約はありません。相互のメリットとしましては、民間建築工事や海外における共同受注、共同研究開発の実施などがあげられます。

なお、上記(1)のとおり、2022 年5月 17 日現在、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)はその共同保有者と合算で当社議決権の 27.22%を所有していますが、当社が事業活動を行う上での承認事項など、当該株主からの事業上の制約はありません。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

上記のとおり、当社は、前田建設工業株式会社と「独立と協調」の精神で業務提携を行っており、インフロニア・ホールディングス株式会社及び前田建設工業株式会社からの事業上の制約はなく、当社独自の経営判断に基づき事業活動を行っていることから、当社の独立性は十分に確保されています。

なお、上記のとおり、当社は、ダブリューケイ・ワン・リミテッド(WK 1 Limited)及びその共同保有者との間で人的関係はなく、また、事業上の制約もなく、当社独自の経営判断に基づき事業活動を行っていることから、当社の独立性は十分に確保されています。

4. 支配株主等との取引に関する事項

(2022 年3月期 2021 年4月1日～2022 年3月 31 日)

| 種類 | 会社の名称 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権の所有 (被所有) 割合(%) | 関連当事者 との関係 | 取引の 内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|--------------|---------------|-------------|--------------|---------------|--------------------------|---------------------|-----------|---------------|----------|---------------|
| その他の 関係会社 | 前田建設 工業(株) | 東京都 千代田区 | 28,463 | 建設事業 | (被所有) 直接 20.20 | 民間工事における共同受注、共同研究開発 | 建設工事の受注 | 1,142 | 完成工事未収入金 | 1,324 |

- (注) 1. 建設工事の受注については、一般の取引条件と同様に決定しております。
2. 取引金額については、建設工事の施工に伴う2022年3月期の売上高です。

5. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況
重要な事案につきましては、当該取引が株主共同の利益を害することのないよう、取締役会の承認を得ることとしています。

以 上